

## 川を守るために

私たち人間は、水がないと絶対に生きていきません。例えば、飲む、お風呂、洗面など一日生活するだけで、何回も水が必要になります。

私は、小さい頃から川のある村で暮らしてきました。子供会の行事で川で遊んだり、小学校の総合の時間に川について調べたり、春になると父が鮎やアマゴを釣ってきたりと、生活の中にはいつも川がありました。

小学校五、六年のとき、川の下流にある小学生との交流会がありました。一緒に川で遊んだり、アマゴつかみをしたりしました。そのとき、

「この川きれいやなあ。」  
と誰かが言っていたのを覚えています。また私たちが海に行き、海水浴や海釣りをしたり海のゴミ拾いをしたりしました。その交流を

## 川上村立川上中学校 三年

松本 いぶき

通して、もつとききれいな水を下流に流せたらいいなあと思いました。

この村では、「かけがえのない水が作られる場に暮らす者として、下流にはいつもきれいな水を流します。」という宣言がされています。

この宣言を守るために、上流に住む私たちはどうすればいいのか考えてみました。そして、川を守る方法の一つとして、森を守るということを思いつきました。森は雨水や雪解け水を地面に浸透させ、それをきれいな水にして、川に流すという働きをしているからです。では、こんな森を守るために出来ることは何でしょうか。大人に任せればかりでなく、私たち中学生や小学生でも出来ることがあるはずです。私は、森にゴミを捨てない、紙など無駄に使わず木を大切にするといったこと

なら、中学生、小学生にでも出来ると思いますが。川を守るためにも、森を守る工夫をすることが必要です。

川を守るもう一つの方法として、アクリルたわしを使用することを思いつきました。私は、中学二年生のときの家庭科の授業で、アクリルたわしを知りました。このアクリルたわしは、洗剤を使わなくても皿の汚れが取れるというものです。また、洗うと何度でも使うことが出来るので、ゴミになりません。これを知ったとき、本当にすごいと思いました。この家庭科の授業では、手編みでアクリルたわしを作りました。裁縫が苦手な私でも簡単に編むことが出来て楽しかったです。また文芸クラブでは、かぎ針でアクリルたわしを編みました。

これも編み方を覚えると簡単に出来ました。アクリルたわしは、私のように裁縫が苦手な人でも簡単に作る事ができます。だから、たくさんの方がこのアクリルたわしを使えば、もっときれいな水を流す事が出来ると思います。私もアクリルたわしを使っていこうと思います。

冒頭にもあったように、私たち人間は水がないと絶対に生きていけません。だから、川には感謝すべきだと思っています。しかし、人間は川にゴミを捨てたり、汚染水を流したりして、どんどん川を汚しています。人間のせいで川が汚れていくのは、本当に悲しいことです。だから、ひとりひとり川をきれいにする工夫をすることが必要だと思います。例えば、水の無駄使いをせず、汚染水の量を減らすといった小さな工夫でもいいと思います。私は、みんなが工夫をして、きれいな川を守っていけることを望みます。







